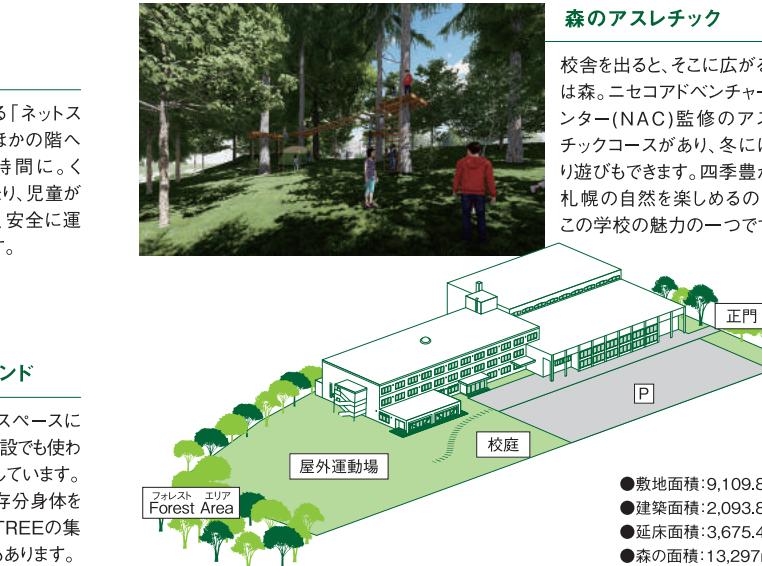




Campus

学び舎は四季豊かな森の中。
五感で感じる自然と、最先端の施設を
融合させた学びのフィールド。
児童には、一人ひとりが主体的に、かつ仲間との
コミュニケーションも大切にして学ぶことができる環
境が必要です。心も身体も大きく成長する小学校
の6年間。本校では各教科の深い学びはもちろん
のこと、人間力や感性を育むための環境が整って
います。失敗を恐れずにチャレンジできるフィールド
は校舎内だけでなく、森をはじめとした校舎の外に
も広がります。



ごあいさつ

「学ぶを、あわせに。」
夢に挑戦する子どもたちを
全力で、サポートします。

校法人田中學園

理事長 田中賢介

田中學園慶祥小学校は、「世界に挑戦する12歳」を輩出することを教育

理念・目標に掲げています。北海道から世界に単立し、地域をリードして豊かな未

をつくる人を育てるため、本校ではさまざまな最先端の教育を行っていきます。それ

だけでなく、最も伝えたいのは「愛」——相手を思いやり、愛することができる人に

育ってほしいというのが、我々の願いです。

「Challenge with Dream」、夢を持って挑戦することは、私が現役の野球選手

だったころにチームと共に掲げた大切な目標です。私は、子どもたちの可能性は無

限大だと思っています。失敗を恐れずどんな夢にも挑戦できるよう、私たちができる

限りのサポートをしますので、この学校で、一緒にチャレンジしていましょう。



本物の体験「3大FES」で
心の根っこを育てる。

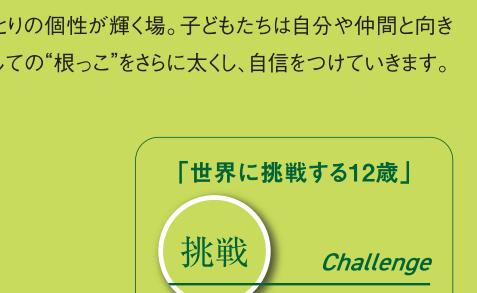
実感のある学びには、心を動かす本物の実体験が不可欠です。それを実現するための行事が、「確かな学力」「スポーツ&アート」を象徴する行事「3大FES」です。保護者も一体となり熱くなる「Sports Festival」、本物の芸術に触れて感性を研ぎ澄まし、自分たちの想像（創造）へつなげる「Art Festival」。そして「Academic Festival」では6年間の学習の集大成を発表します。行事は一人ひとりの個性が輝く場。子どもたちは自分や仲間と向き合う中で、人としての「根っこ」をさらに太くし、自信をつけていきます。



Stage 3 5・6年生

できる、わかる。
自己効力感がさらなる挑戦を加速。

失敗を繰り返しながらもチャレンジするたびに心の幹を太くし、「自分ならできる」という自己効力感が高まる高学年。少しづつ壁を乗り越えた経験が、さらなる挑戦を後押しします。Stage3では「Watashi時間」や海外プログラムなど、個性の違う一人ひとりの挑戦を応援する環境が用意されています。子どもたちは一歩一歩着実に「世界に挑戦する12歳」へと成長していきます。



「世界に挑戦する12歳」

Challenge

「協働」

Collaboration

「貢献」

Contribution

●進路について

「なりたい自分」を実現させるための小中高一貫教育

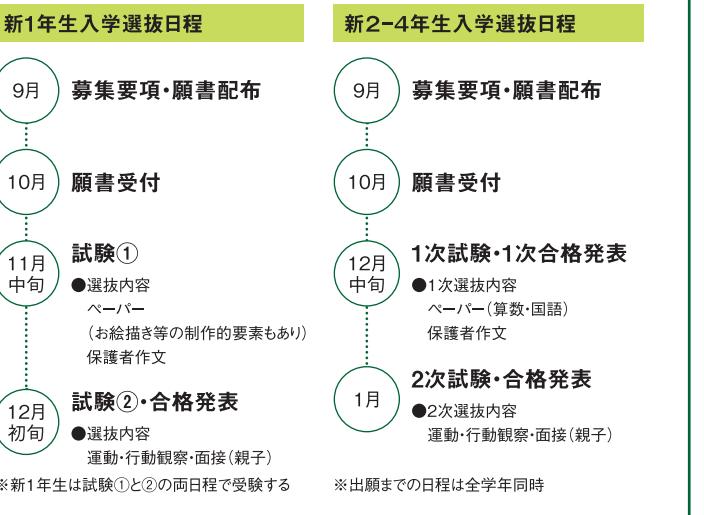
小・中・高と一貫した高度な教育環境を展開することで、積み重ねてきた学習を途切れさせることなく、お子様の適性や能力を、時間をかけて育むことができます。多様性を認め、それぞれにあった柔軟な学びを提供し、一人ひとりの夢の実現を応援します。



●入試について

入試方針

これまでご家庭でお子様と保護者様が一緒に過ごしてきた体験が、知識・知恵として身についているかどうかを見る入試です。ご家庭で過ごす中で、学ぶことの楽しさを実感し、「学ぶことは楽しい」「もっと学びたい」という気持ちで入学していただきたいと思います。



学校法人田中学園

田中学園 立命館慶祥小学校

T062-0031 札幌市豊平区西岡1条7丁目2-1
URL https://tanakagakuen.ed.jp/



Program 「世界に挑戦する12歳」を育てる教育プログラム

従来の教育にとらわれない、子どもたちの可能性を引き出す教育を提供します。

Program 1

英語 イマージョン教育

英語というツールを体験から習得。
インプットとアウトプットの
両方を継続的に実践。

1年生からの英語の授業に加え、体育・音楽・図工・情報など実技教科を全て英語で学びます。毎回の授業は、教科のプロである専科の日本人教員とネイティブ教員が協働で作り、実際の授業もチームティーチングで行います。行動を伴う実技教科だからこそ、体を動かしながら英語が自然に身につきます。さらにネイティブ教員の指導で日常会話はもちろん、各教科の専門的な英語まで習得が可能です。今まで英語に触れてこなかった児童も、日本人教員のサポートにより安心して学ぶことができます。英語で行われる授業は週10時間に及び、学校生活の1コマ1コマでネイティブ教員が身近にいる環境が、児童の自然な英語習得を促進します。



Program 4

Watashi時間

個性が違えば、学び方も違う。
自分の興味や進度に合わせた
個別最適化学習。

少人数教育の特性を活かし、一人ひとりの児童に合った学びを探求する個別最適化学習の時間です。児童の興味や学習理解度に合った学習で、「わたし」の「好き」を追求します。教員が各児童の学習段階を見極め、教科書以外にも適切な教材や学習方法を提案。既習内容を十分に理解している児童は「もっと知りたい」を実現させるための時間として、また、課題を克服したい児童は、教員と一緒に理解を深める時間となります。そうした経験を積んでいくことで、「今の自分には何ができる、何ができないのか」を児童本人が認識できるようになり、自立した学習者へと成長します。



興味に合わせて
「もっと知りたい」を
追求する時間に



既習内容に
課題のある児童
教員のサポートと
適切な学習方法により
課題を克服する

Program 2

教科横断型授業 LINK

教科の枠を超えて、
「広がる・つながる。」

「LINK」はただ正解を見つけるのではなく、仲間とのコミュニケーションの中で自分の考え方や意見を持ち、主体的に行動する力を育むことを目的とした授業です。国語・社会といった教科の壁を取り払い、複数の教科を統合したプロジェクト立て、探求学習を行います。LINKで仲間と共に問題解決に取り組む中で、児童は習得した知識を実践し、「本当に使える知識」として高めます。教科間のつながりから学校全般・地域・社会へのつながりを見つけることで「広がる」学び。学年が上がるにつれ、児童はより多くのものとつながり、実社会へと「つながる」学びを体験します。



学びを一つに結ぶ
LINKは本校の
学びの象徴です。

Program 5

縦割り教育 TREEシステム

異年齢の仲間と日常生活を過ごし、
上級生へのあこがれと
下級生への思いやりを育む。

本校の児童は、基本となる学級とは別に、年齢の異なる児童が縦割りで構成するグループ「TREE」に6年間所属します。TREEはいくつかの「LEAF」から成り、LEAFは各学年1名ずつのメンバーで構成されます。LEAFで清掃など日常活動を協力して行い、さらにTREEで行事などを行います。上級生は下級生をまとめるリーダーシップを、下級生はチャレンジ精神を身につけ、学年を超えて支え合う協調性を育み、さまざまな人とコミュニケーションをとる楽しさを感じます。毎日異なる年齢の児童同士の間わりを持つことで、個別の違いが当たり前の中のとして受け入れられるようになり、助け合いを生み出します。



1枚のLEAFは
異年齢6人の児童で
構成



全児童はいずれかのTREEに所属

Program 3

ICT教育

高度情報化社会に対応できる、
情報スキルとモラルを学ぶ。

日々の生活はもちろんのこと、実社会に出てからも必須となる情報活用能力を、1年生から学齢に合わせて無理なく学んでいきます。ICT教育とは、情報機器やインターネットの活用法を学ぶだけではありません。それらを使用する際に起こりうる問題に踏み込み、メディアと正しく付き合うための倫理観を養うこと、また効果的な調べ学習の方法を学ぶことなど、実社会にダイレクトにつながる学びが必要です。こうした高度な情報教育を、専門家の協力のもと、MNI(Masters of News & Information)教育として実施します。



1人1台のデバイスを使用



プロジェクターなど最新機器を導入



各教室にwi-fiを完備



北海道新聞社協力によるMNI教育

学ぶを、
しわせに。
!



Tanaka Gakuen
Ritsumeikan Keisho
Primary School Guide

R
学校法人田中学園
田中学園 立命館慶祥小学校

学ぶを、しあわせに。

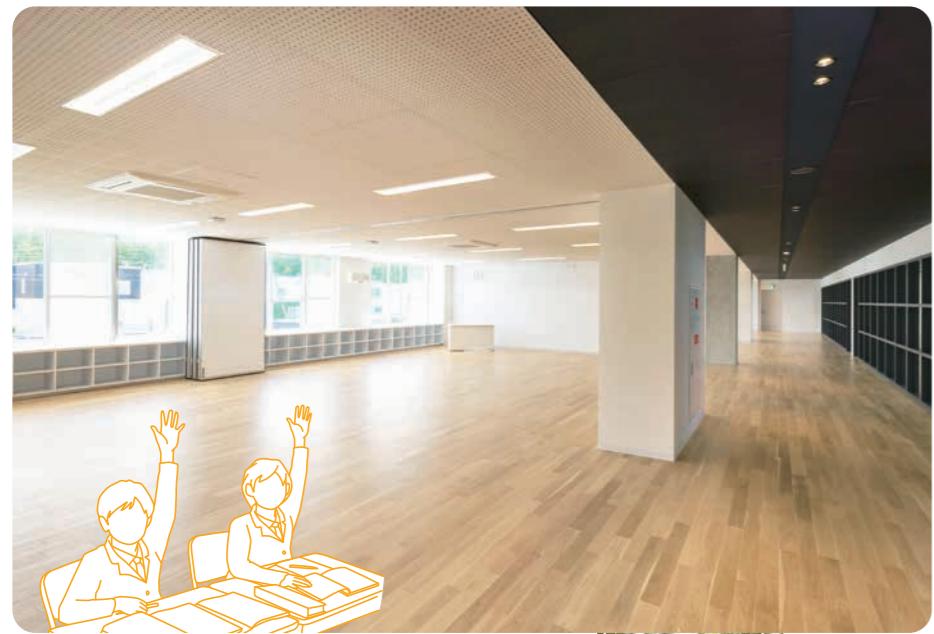


Tanaka Gakuen Ritsumeikan Keisho Primary School Guide



学校法人田中学園

田中学園 立命館慶祥小学校



教室

前面の壁一面がホワイトボードになった教室では、授業中に児童が同時に意見や解答を書いて、クラスのみんなで共有することができます。プロジェクターでデジタルテキストを映すことも可能。固定されない、多様な学びができる設計です。安全性を重視し窓はあえて全間にできない仕様で、冷暖房を完備しています。



ワークスペース

建物の歴史の証である柱を囲むように、1学年分の座席が並んでいます。授業以外に、読書の時間やTREEの集会、食事場所にも使われます。また、9つの隠れブースで、絵本と共にゆっくり過ごすこともできます。



職員室

オープンスタイルの職員室は、隣の多目的スペースで自習する児童が質問や相談をしやすい雰囲気を大切にしています。個別相談室も3室あります。



理科室

扇形のテーブルは、先生の話を聞くときにも、グループで議論するときにも最適な形。白を基調とした明るい室内で、未来の科学者たちのワクワク・ドキドキを育みます。



体育館

ミニバスケットボールのコート二面分の大きさで、体育の授業はもちろん、全校集会やTREE集会にも使用します。児童はここと隣接するホール型ライブラリー(第二体育館)、2つの体育館で遊び遊んで、体力づくりをします。

本物の体験が
ここにある！

ミーティングルーム

「TREE」のリーダーミーティングや児童会活動に使用。人から見られているという意識もリーダーシップを育むには大切です。



トイレ

ウォシュレット完備で清潔感にあふれる洋式トイレです。2階には幼児サイズのトイレも設置しています。

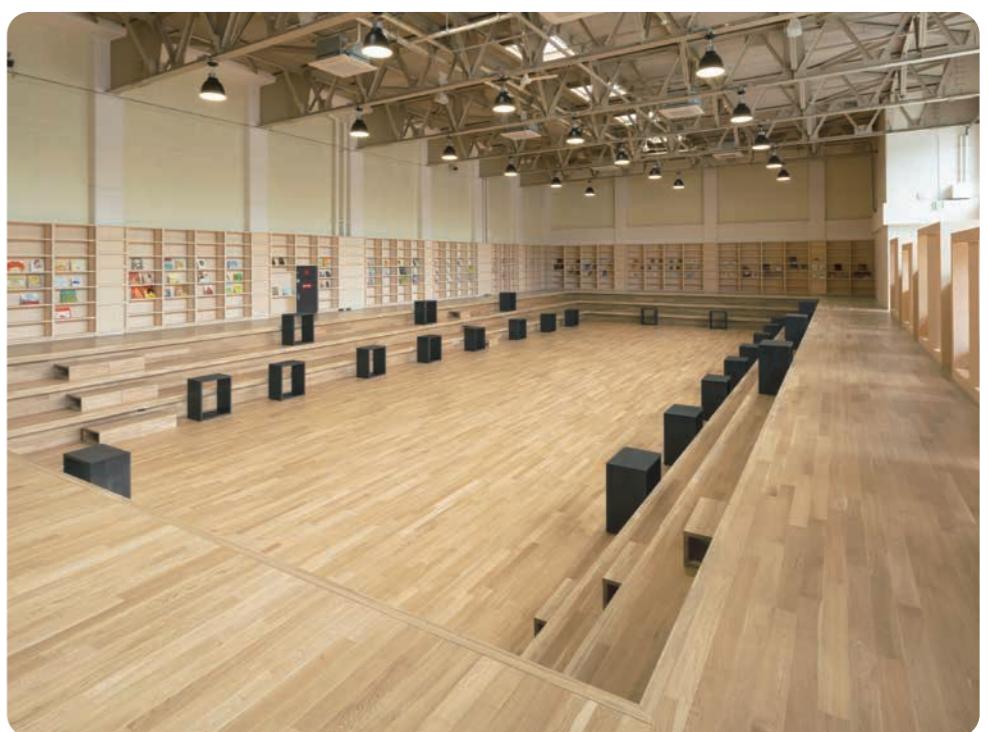


森に囲まれた校舎には、
子どもたちがわくわくしながら「本物の体験」を重ね、
安心して学び、過ごすことができる施設が整っています。



ネットステップ

2・3階の間には、真っ白で頑丈なロープを編み上げたネットステップが。ぐらぐらしたり、横になったり、さかさまになったりと、楽しみながら子どもの運動感覚を養います。



ホール型ライブラリー

壁いっぱいの2万冊(予定)の本に囲まれた最高の場所。階段状のベンチや窓際のパーソナルスペースなど、お気に入りの場所で、思う存分本の世界に浸ることができます。放課後は、アフタースクールの預かり場所になります。



校庭・屋外運動場

テラスの外は一面みどりのフィールドです。体育で元気に運動したり、休み時間に友だちと全力で走ったり、遊び方は無限大。雪の多い札幌の児童にもなるべく長い期間、外で元気に遊んでほしいという思いから人工芝を選びました。

学費について

●授業料:月額66,000円 ●教育充実費:年額192,000円 ●入学金:300,000円 その他諸費用がかかります

▶ 田中学園立命館慶祥小学校の1日

- ① ~8:30 ▶ 登校後、順次朝読書
- ① 8:30 ▶ 朝の会
- ① 8:40 ▶ Root Time
脳の活性化と集中力および認知力の育成を目指し、音読や計算などを実施
- ⌚ 8:50 ▶ 1時間目
- ⌚ 9:40 ▶ 2時間目
- ⌚ 10:25 ▶ Snack Time & Recess(中休み)
午前の後半も集中して学ぶためにエネルギーを充電&心と体をリフレッシュ
- ⌚ 10:45 ▶ 3時間目
- ⌚ 11:35 ▶ 4時間目
- ⌚ 12:20 ▶ Lunch Time
(コープさっぽろによる本校オリジナルランチ)
- ⌚ 13:00 ▶ Cleaning Time(清掃)
- ⌚ 13:20 ▶ Recess(昼休み)
図書館・ネットステップ・人工芝・森など、お気に入りの場所でわたし時間
- ⌚ 13:40 ▶ 5時間目
- ⌚ 14:30 ▶ 6時間目
- ⌚ 15:15 ▶ 帰りの会
- ⌚ 15:35 ▶ アフタースクール(習い事部門・預かり部門)
- ⌚ 16:35 ▶ アフタースクール(習い事部門終了)
- ⌚ 18:00 ▶ アフタースクール(預かり部門終了)

安心・安全のDoor to Doorシステム

ご自宅から学校まで、13人乗りの車両で送り迎えします。

【料 金】距離に応じて1カ月 25,000~35,000円



充実のアフタースクール

アフタースクールにはご家庭をサポートする「預かり」部門と、子どもたちの個性をさらに伸ばす「習い事」部門があります。

預かり部門

18:00まで ホール型ライブラリー(平日のみ)

習い事部門

●開講科目

囲碁／キッズヨガ／コーラス／茶道／将棋／書道／そろばん／造形／ダンス／チア／中国語／バイオリン／フランス語
※その他、英語、プログラミング、ファイターズフィジカルアカデミー、空手等を予定しています。



TANAKA
GAKUEN

学校法人田中学園

田中学園 立命館慶祥小学校

〒062-0031 札幌市豊平区西岡1条7丁目2-1

TEL:011-558-1721

URL <https://tanakagakuen.ed.jp/>

